

J-MICC Study 京都フィールドを通じて日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）に
参加いただいた方へ

当施設では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが一括審査され、認められた研究です。一括審査結果に基づき、当施設において機関の長による実施の許可を得ています。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）は、運動ニューロンが進行性に侵されることで、全身の筋肉がしだいに動かなくなり、多くの場合発症してから数年で永続的な人工呼吸を要したり、死亡したりする難病です。悲願である ALS の治療開発を進めるために、ALS の病気の仕組みを解明する手掛かりを探る研究が積極的に行われています。

愛知医科大学を代表機関として我が国の多くの研究機関が参加する「筋萎縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関与する因子の探索 JaCALS (Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research)」研究では、2000 例以上の ALS 患者さんの研究試料を蓄積して、ALS の発症、進行、予後に関連する遺伝子を探索同定する研究を進めています。ALS に関わる遺伝子を同定できると治療開発の重要な手がかりになります。そのためには、ALS 患者さんの遺伝子情報と比較する健常対照例の遺伝子情報が必要です。

この研究は J-MICC Study 参加者の、既に提供された遺伝子情報を健常対照例として用いて解析を行うものです。J-MICC Study 参加者の遺伝子情報は匿名化され、解析は個別の参加者の情報を特定できない形で行われます。

既に研究試料を提供いただいた対象者からあらためて同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	JaCALS および J-MICC 研究における既存試料を用いた筋萎縮性側索硬化症のゲノムワイド関連解析
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	医学部長 若槻明彦
担当科等	神経内科
研究責任者	学長 祖父江 元
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	愛知医科大学を研究代表機関とする研究。 共同研究機関名・研究責任者名は多数のため、後方に別途記載。
研究の意義・目的	「筋萎縮性側索硬化症の発症・進行・予後に関与する因子の探索 JaCALS (Japanese Consortium for Amyotrophic Lateral Sclerosis research)」研究（以下、JaCALS）は、ALS の克服を目指して ALS の自然歴を明らかにし、ALS の発症、進行、予後に関与する臨床的、遺伝的な因子を明らかにし、ALS の臨床・遺伝情報を統合したバンクを構築することを目的としています。 JaCALS の研究試料から得られた多数の ALS 患者さんの遺伝子情報を、大

	<p>規模な健常対照者の遺伝子情報と比較解析することで、ALSの発症、進行、予後に関わる遺伝子を明らかにすることができます。それらは治療開発の重要な手がかりになることが想定され、有効な治療薬開発の道を開く可能性があります。</p>
対象者	<p>日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）に参加いただいた方の中で、研究実施期間内に改めて倫理審査を受けた J-MICC Study 以外の他研究に、匿名化したデータ、血液、尿、DNA などの試料が提供されることに文書による同意をした方。</p>
研究の方法	<p>JaCALS においては、これまで様々な共同研究を実施し、ALS の発症、進行や予後に関わる遺伝子を探索する解析を実施しており、ALS の病態を明らかにし、治療開発を進める手がかりになっています。しかし、まだ数多くの ALS 関連の遺伝子が存在すると考えられており、それらを探索同定することは重要です。</p> <p>JaCALS は、既に 2000 例以上の ALS 患者さんに参加いただき、ALS 患者さんの大規模なゲノム解析データを蓄積しています（ヒトなど、生物個体の遺伝子情報の全体を「ゲノム」といいます）。これまでも東北メディカルメガバンク機構や Biobank Japan などの我が国の大規模健常人ゲノムデータを利活用して、ALS 患者さんと健常人ゲノムデータの比較解析を実施してきました。</p> <p>さらに解析例数を増やし、新たな解析手法を適宜取り入れて、より多くの ALS 関連遺伝子を探索同定するために、J-MICC Study と共同研究を行い、J-MICC Study で蓄積された健常人ゲノム情報を解析のための健常対照群の一部として利活用します。</p> <p>研究計画についての問い合わせは下記「問い合わせ先」に御連絡ください。</p>
研究期間	<p>研究実施承認日 ～ 2025年3月31日（ただし、倫理委員会の許可を得て、期間が延長される可能性があります。）</p>
研究に用いる試料・情報	<p>試料、情報：J-MICC Study に既に蓄積された臨床情報、ゲノム情報</p>
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。申し出の期限は設けません。利用・提供を希望しないという申し出があった場合には、関連する研究試料は破棄し、以降は本研究に用いられません。ただし申し出いただいた時点ですでに研究結果が論文などで公表されている場合のように、解析した結果などを廃棄することができない場合があります。</p>
問い合わせ先	<p>J-MICC Study 京都フィールド 担当者：講師 小山晃英 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学大学院医学研究科 地域保健医療疫学 電話（内線）075-251-5789</p>
共同研究機関名・研究責任者名	<p><J-MICC> 千葉県がんセンター研究所がん予防センター・主任上席研究員・中村洋子</p>

愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野・分野長・松尾恵太郎
 名古屋大学大学院医学研究科予防医学分野・講師・田村高志
 名古屋大学大学院医学研究科予防医学分野・助教・永吉真子
 京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学・講師・小山晃英
 佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野・教授・田中恵太郎
 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際離島医療学分野・教授・嶽崎俊郎
 静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科公衆衛生学研究室・教授・栗木清典

<JaCALS>

愛知医科大学・学長・祖父江元
 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学・教授・勝野雅央
 自治医科大学内科学講座神経内科学部門/附属病院リハビリテーションセンター・教授・森田光哉
 東北大学大学院医学系研究科・教授・青木正志
 新潟大学脳研究所脳神経内科・講師・石原智彦
 東京都立神経病院脳神経内科・部長・清水俊夫
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター脳神経内科・統括診療部長・小尾智一
 国立病院機構東名古屋病院・臨床研究部部长・饗場郁子
 東京医科歯科大学神経内科・教授・横田隆徳
 東京大学医学部附属病院脳神経内科・教授・戸田達史
 国立病院機構相模原病院・統括診療部脳神経内科医長・長谷川一子
 三重大学医学部附属病院神経内科・講師・谷口彰
 徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野・教授・和泉唯信
 国立病院機構鈴鹿病院脳神経内科・院長・久留聡
 拓海会神経内科クリニック・理事長・藤田拓司
 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室・教授・矢部一郎
 群馬大学医学部附属病院・大学院医学系研究科脳神経内科学教授・池田佳生
 国立病院機構宮城病院・院長・永野功
 微風会ビハーラ花の里病院・副院長/脳神経内科部長・織田雅也
 国立精神・神経医療研究センター・脳神経内科診療部長・高橋祐二
 岡山大学病院脳神経内科・准教授・山下徹
 京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学・教授・水野敏樹
 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科・主任教授・服部信孝
 京都大学医学部附属病院脳神経内科・助教・綾木孝
 東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野・教授・狩野修
 山梨大学医学部神経内科学講座・教授・瀧山嘉久
 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野・教授・花島律子
 国立病院機構東京病院・神経内科医師・中村美恵
 九州大学大学院医学研究院神経内科学分野・准教授・山崎亮

	<p>千葉大学医学部附属病院脳神経内科・教授・桑原聡 東京医科大学病院脳神経内科・主任教授・相澤仁志 横浜市立大学附属病院脳神経内科/脳卒中科・主任教授・田中章景 国立病院機構静岡医療センター脳神経内科・副院長・溝口功一 佐賀大学医学部附属病院脳神経内科・教授・原英夫 福島県立医科大学医学部脳神経内科学講座・教授・金井数明 国立病院機構医王病院脳神経内科・院長・駒井清暢 滋賀医科大学内科学講座脳神経内科・教授・漆谷真 福岡大学医学部・教授・坪井義夫 大阪大学医学部附属病院神経内科・教授・望月秀樹 名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻実社会情報健康医療学・准教授・中朽昌弘 東北大学東北メディカルメガバンク機構・客員教授・峯岸直子 国立病院機構宇多野病院・院長・梶龍兒 理化学研究所生命医科学研究センター骨関節疾患研究チーム・チームリーダー・池川志郎 理化学研究所生命医科学研究センターゲノム解析応用研究チーム・チームリーダー・寺尾知可史 京都大学学際融合教育研究推進センター スーパーグローバルコース医学生命系ユニット・特定教授・長崎正朗 横浜市立大学医学部医学科遺伝学・教授・松本直通 大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学・教授・岡田随象 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床統計学分野・教授・平川晃弘</p> <p>ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。</p>
--	--